



「教職の魅力」を考える 6

～ 令和6年度中学生のための教職セミナーより ～

令和7年7月 神奈川県立総合教育センター

神奈川県立総合教育センターでは、キャリア教育の一環として、中学生を対象に「中学生のための教職セミナー」を実施しています。令和6年度に開催された「中学生のための教職セミナー」でいただいたアンケートから「教職の魅力」に係る内容を紹介します。また今回は、アンケートから見える「中学生とその保護者」が抱く教師像についても紹介します。

セミナーに参加申込された中学生からいただいた事前アンケートの回答から、教職への興味・関心につながる質問の答えを要約してまとめました。

中学生の声 『教職に興味を持った理由』

- ・憧れの先生との出会い（優しさ・面白さ・熱意）
- ・人に教えることが好き
- ・授業を受けることが楽しい
- ・部活動や学校行事で熱心な先生との関わり
- ・親や親戚が教員でやりがいのある仕事と感じる

中学生の声 『教員になってやりたいこと』

- ・生徒と信頼関係をつくること・相談に乗ること
- ・部活動の顧問として関わること
- ・行事（体育祭・文化祭・卒業式など）への参加
- ・授業を通じて「わかった！」と言ってもらうこと
- ・パソコンを使った授業
- ・ピアノ演奏
- ・給食をもう一度食べたい！

セミナーに参加した中学生のアンケートから「生徒から見た先生の魅力」を感じる意見を抜粋しました。

中学生の声 受講後の感想より

- ・「中学生のときが一番楽しいし、人生で一番大事」と先生が言っていたから、自分もその大事な時期を支える先生になりたいと思った。
- ・尊敬する先生がいて、その人に影響を受けた。
- ・小学5年生の時の先生に魅力を感じ、友達に勉強を

教えるのが楽しくて、先生になりたいと思った。

- ・先生の授業が面白くて、どうやって先生になるのかが知りたくなった。
- ・小1の時の先生に憧れ、中1の英語の先生が心に残り、教職に魅力を感じた。
- ・先生がどんな準備をして授業をしているのか気になった。
- ・中学校にとても授業がわかりやすい先生がいて、憧れた。
- ・音楽の先生が「音楽」や「先生」を楽しんでいて、自分もそなりたいと思った。
- ・学校が好きで、先生たちが楽しそうにしていたので興味を持った。
- ・友達に質問されたところを答えるときに、人に教えることが面白いと感じた。
- ・授業をしてみて、楽しかったから。
- ・授業を受けた際にすごく楽しそうに教えてくれた先生がいて、その先生のように充実した仕事に就きたいと考えた。
- ・サッカーを指導するコーチになりたいと思っていて、顧問という立場で生徒に指導できる教員に魅力を感じた。
- ・授業をしてみて、難しい部分もあったが、経験してみて楽しい思い出にもなった。
- ・教師ってかっこいいなって思ったので、教員を目指しています。
- ・授業を通して生徒とのかかわりをもちたい。
- ・小学校の先生になって、みんなが笑顔になれるクラスをつくる！
- ・生徒と仲良くなりたい。一緒に成長できると思う。
- ・1年のときの先生がやさしくて、2年生のときの先生がすごく深いところまで教えてくれた。

- ・授業をしている先生が楽しそうだったことと、向いてるよ！と後押しされた。
- ・体育の先生（部活の先生）が自分に優しい言葉をかけてくれた。
- ・今日のセミナーでは、今まで知らなかつたことについて知ることができて、とてもよかったです。実際に授業を体験して、夏休み明けの授業の見方が変わるとと思うので、とてもよい機会になりました。ありがとうございました。

保護者の声 受講後の意見より

- ・やりがいがある。
- ・子どもの成長を支えるかけがえのない職業。尊敬できる先生に出会えたことに感謝している。
- ・担任や部活などを通して、子どもの成長を広く見守れる仕事。
- ・子どもを育てるという意味で、他の仕事とは違う価値のある職業。
- ・やりがいがあるという面もあると感じている。
- ・子どもの成長に喜びを感じる。
- ・やりがいは大きいが、責任も苦労も大きい仕事。
- ・先生が寄り添ってくれたことで、人生がよい方向に進んだと感じている。
- ・人生に影響を与える職業。
- ・学校の先生が寄り添ってくださらなかつたら、もっと人生曲がっていたかもしれません。ずっと感謝しています。
- ・先生方が生き生きとされており、想像以上にやりがいを持って向き合われていると感じました。
- ・先生達は、みんな優しい感じで、色々教えてあげたい、教師になれるようにしてあげたいという気持ちがにじみ出でていて、とても良かったです。
- ・先生のリアルな話を聞くことができて、子どもも充実したと思います。
- ・授業を通して、先生の大変さや工夫を感じられるようになった。とてもよい経験だった。

- ・先生方のアドバイスが優しく、わかりやすかった。教員のイメージがとても身近に感じられた。
- ・生徒に合わせて授業スタイルを変えるのは、人間対人間ならではの仕事だと感じた。
- ・配慮が細かい。（様々な子ども、親、社会に対応するため）→昔より丁寧で優しい先生が多くなった気がする。
- ・真面目、物知り。
- ・雑談したり色々教えてもらったり、一番身近な相談相手でした。
- ・いつも元気（に見える）スーパーマンだなと思います。頼りにしています。先生、いつもありがとうございます！！
- ・学校の中だけでなく、子どもたちの未来を育ててくださって心から感謝しています。
- ・子どもにとって大変貴重な体験ができたと思います。教師を目指すための導入としてとてもよい内容だと思いました。

参加された保護者の皆様からも「教職の魅力」にかかる御意見を多くいただきました。このことからも教職が「人の成長に深く関わる」「やりがいがある」「人生に影響を与える職業」として、強くイメージされていることがわかりました。一方で、保護者の「教職」に関するイメージの中には「人として手本になる立場なので、気を遣う職業」「お休みをちゃんと取れているのかな？と思うことがあります。」「大変そう。」「土日、夜間関係なくずっと仕事をしていそう。」など、教職に興味を持った我が子を思う、親としての不安な思いもいただきました。

こうした不安を払拭するためにも、現役の先生たちが教職の魅力を改めて実感し、それを子どもたちに伝えていくことが大切だと感じます。

現役の先生方、これから先生になろうとしている方、また現在先生という仕事に興味を持っている方も「先生になりたい！」と思った時の気持ちを大切に、これからも「教職の魅力」についてともに考えていくべきだと思います。

令和7年度の「中学生のための教職セミナー」は、8月2日（土）開催します！

（申込期限7月25日（金））

詳しくは「中学生のための教職セミナー」ウェブページへ

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/minasama/chuugakuseikouza.html>

